

出前講義を実施しました。

平成 22 年 12 月 16 日 (水) に応用生物科学部産学連携研究員の稲垣瑞穂さんが、岐阜大学教育学部附属中学校の 2 年生 160 名を対象に出前講義を実施しました。

このプロジェクトは、小中高生に身近なロールモデルとなるポスドクや女性大学院生が研究の魅力や歩んできた道を紹介することによって、「サイエンス夢追い人」＝「科学者を志す学生」を増やすことを目的に発足しました。

記念すべき第 1 回の講義のタイトルは「ミルク研究奮闘記 命をつなぐ不思議な食べ物」。

講義の前半では、研究紹介に焦点をあて、ミルクやヨーグルトの上清(ホエイ)に含まれるあるタンパク質が乳幼児に下痢を引き起こすロタウイルスの感染を防止できることについて、写真やイラストなどを用いて中学生にわかりやすく伝えました。講義の後半では、自らの進路選択の経緯について、幼いころから現在に至るまでを振り返り、悩みながら壁にぶつかりながら、やりたいことにたどり着いた経験を語りました。最後に中学生へのメッセージとして「やりたいこと、分からないのは当たり前。やりたいことにたどり着くには、興味あることにどんどん挑戦すること」を伝えました。



講義後のアンケート結果

42名増加

- ・以前から科学や研究に興味があった生徒: 97名(62%)
- ・この講義を受けて科学や研究に興味を持った生徒: 139名(88%)
- ・この講義を受けて大学へ進学したいと思った生徒: 131名(83%)
 - 理系 : 69名(53%) 男性 43名 女性 26名
 - 文系 : 34名(26%) 男性 8名 女性 26名
 - その他・無回答 : 28名(13%) 男性 16名 女性 12名
- ・この講義を受けて大学院へ進学したいと思った生徒: 68名(43%)
 - 男性 40名 女性 28名
- ・今後もこのような講義を受けたい生徒: 134名(85%)



講師(稲垣 瑞穂さん)の感想

担当させていただき、今まで感じたことのなかった研究者の魅力を発見(学ばせていただいた)ように思います。子どもたちが興味持って耳を傾けてくれたこと、本当にうれしかったですし、感謝のきもちでいっぱいです。話を熱心に聞いてくれた子どもたちの雰囲気忘れられません。

受講者の感想(抜粋)

- * 今回の講座を聞いて、自分の将来について考えようと思いました。ウイルス関係に興味を持ちました。
- * 大学の様子や仕組みなどを見てすごかったし、ちょっと興味を持ちました。
- * 理系に進もうと決心出来ました。
- * 岐大に入りたいと思っているので、良い経験となりました。
- * こういう講座でしか見られないような実験道具や実験結果を見ることができて、おもしろいと思いました。
- * こういう仕事もあるんだなと関心を持ちました。
- * 研究というのは、ただ新しいことを発見するだけでなく、それを通していろいろな人が救われていることがわかりました。
- * 大学院には行かなくてもいいと思っていたけど、行って、さらに知識を深めたりするきっかけとなり、行くのも悪くないと思いました。
- * 自分の将来についてイメージができてきました。
- * 人生はやり直せるということや、興味のあることにかかわる仕事につけば毎日が充実することを教えてください、ありがとうございました。

などなど・・・生徒の皆さま一人ひとりがA4一枚びっしりに感想を書いてくださいました。全てを紹介できなくて残念です。生徒の皆さま、附属中学校の淀川雅夫先生はじめ関係者の皆さま、ありがとうございました。